

アオサギ観察会

2003年6月27日

巣立ちの季節です。地味な灰色のサギが
ぎこちなく飛んでいたら、それは巣立って
間もない幼鳥です。ただ、飛べるとは言っ
ても、その範囲はせいぜいコロニーの周り
だけ。餌もまだしばらくは親頼りです。

今年は何羽のヒナが巣立っていったでし
ょうか。ひとつの巣で3羽だと、まあ普通。
巣によっては、がんばって4羽を育てると
ころもあります。そうとう経験豊富な親な
ら5羽育てているかもしれません。



4羽のヒナのいる巣

一見、静かなコロニーですが、この時期、親が
巣に戻ってくるといっぺんに大変な騒ぎになりま
す。自分のヒナが餌を貰いに来るの構わないので
すが、他の巣のヒナまで集まってくるのです。ヒ
ナも必至ですが、親も大変です。



巣立ち期の幼鳥

巣立つ頃には、体の大きさも
成鳥と変わらなくなりますが、
全体に灰色っぽい体色で、成
鳥に比べると目立ちません。
一年目の若鳥とはよく似てい
ますが、幼鳥は上くちばしが
黒いので、容易に見分けられ
ます。



一年目の若鳥

幼鳥に比べればいくぶん黒白
がはっきりしてきました。け
れども、首はまだ灰色で全体
的にくすんだ感じです。



成鳥とヒナ

やっぱり成鳥はエレガント！